

令和6年度 事業計画

我が国においては、長期にわたるコロナ禍を経て、物価の上昇や為替の円安、人手不足など様々な課題はありながらも経済活動の正常化が進展しつつある。

一方で、令和6年2月に厚生労働省から発表された速報によれば、去年の出生数は8年連続で過去最少を更新、死亡数も3年連続で過去最多を記録した。予測を上回るテンポで人口減少が進んでおり、企業活動にとって、今後、消費市場の縮小と労働力人口の減少が一層深刻なリスク要因となることが懸念される。

こうした中であって、京都産業会館では、法人の設立目的でもある地場産業の振興と市民生活の向上という2つの大きな使命を果たすため、各種催事への京都産業会館ホールの貸し出し等の事業を実施しているが、コロナ禍で大きく落ち込んだホールのご利用は、令和4年度に続き令和5年度もコロナ前の状況に回復している。

今後はより一層、主催者に寄り添ったきめ細やかな事業運営を図ることで、「次回も是非産業会館を利用したい」と言ってもらえるよう努め、ホール稼働率の向上を目指していく。

併せて、京都経済センタービル管理組合の管理者として、京都経済センターがより快適で安心安全な施設となるよう、引き続き適切な維持管理業務を行っていく。

1 公益法人としての取組み

地域経済の発展と市民生活の向上に寄与するため、当法人の基幹事業である京都産業会館ホールの提供を行うとともに、公益事業として京都織物卸商業組合や京都市が実施される各種事業への支援等を行う。

《主な事業》

(1) 京都市との連携事業

- ・ 中高生のきもの着付け体験の実施

京都市が中心となって毎年3月に実施されている中学生・高校生等を対象とした「きもの着付け体験イベント」(伝統産業の日関連事業)に対して、本年度も引き続き支援を行う。

なお、透明性をより高めるために、本年度から支援内容を次のとおり改めることとしたい。

(令和5年度まで)

事業の会場として産業会館ホールを無償で提供

(令和6年度から)

会場使用料を徴収することとし、その金額相当分の補助金を別途交付

(2) 地場産業振興事業

- ・「京都きものオーデション事業」等への支援

京都織物卸商業組合等が実施する「京都きものオーデション（京都・ミスきもの選考会）事業」及び「和装通過儀礼事業」（十三まいり、七五三詣り）、「きもの文化検定」に対して資金助成を行う。

- ・京都学生デザインコンペ「THE COMPE きものと帯」事業の実施

令和5年度から再開した、京都市内の大学生、専門学校生を対象としたきものと帯のデザインコンペについて、令和6年度も実施する。

実施に当たっては、染色家で人間国宝の森口邦彦氏に委員長にご就任いただき、和装関連団体や行政、経済界、専門家等で構成する実行委員会を立ち上げるとともに、事務局機能については令和5年度に続き、公益社団法人京都デザイン協会に委託する。

2 法人運営の安定を図るための取組み

ホールを継続的にご利用いただいている企業等にきめ細かい営業活動を行うとともに、行政機関や各種団体への働きかけやイベント企画会社等との情報交換を通じた市場開拓も進める。

催事分野としては、当法人の祖業ともいべき繊維関係の展示会を中心に据えつつ、近年ご利用の多い就職フェアや、3年前から注力してきた学術会議の誘致に引き続き取り組むこととしたい。

また、閑散期対策として、ゴールデンウィークやお盆休み等の期間と、月曜日、火曜日といった週前半の稼働を高めるために、主催者情報の収集も含めた営業活動に取り組んでいく。

3 「京都経済センタービル管理組合」管理者としての取組み

「京都経済センタービル管理組合」の管理者として、経済センターの入居者及び来館者に安全・安心・快適に過ごしていただけるよう、区分所有者間で情報を共有し、連携して課題解決に取り組んでいく。